平成27年4月

**日動協：実験動物技術研修会「日常の管理」開催のお知らせ**

公益社団法人日本実験動物協会

（公社）日本実験動物協会では、各種実験動物研修会を開き、実験動物に関する知識と
技術の普及に努めております。

平成27年度の標記研修会「日常の管理」は実験動物の飼育管理、試験、研究及び実験動物並びに実験動物用飼料・器材などの販売に携わる方々、特に初心者の方々を対象として企画しており、動物の取り扱いなど実習も行います。日ごろ担当している業務のみならず、その周辺の業務にも目を向けていただくことにより、受講生各自が日常の飼育管理業務に対してより理解が深まるものと思います。

貴施設の該当する方々が多数参加されますようお取り計らいのほどお願いします。また研修会参加者には、受講修了証を交付いたします。

記

日　　　　時：平成27年6月20日（土）9：00～17：00

場　　　　所：日本獣医生命科学大学 　東京都武蔵野市境南1-7-1

　　　　　　　ＪＲ中央線　武蔵境駅下車南口徒歩3分

参加人員：先着50名

参 　加 　費：会　員　：20,000円＋消費税 計21,600円

 賛助会員：25,000円＋消費税 計27,000円

 非会員　：30,000円＋消費税 計32,400円

参加申込方法：研修会参加希望者は、申込書（必ず１名１枚記入のこと）を用いて、FAXで申し込み願います。**FAX：03-5215-2232**

また、申込書と同様な内容を記載して頂ければ電子メールによる申込みも受付けます。　　E-mail：jsla@nichidokyo.or.jp

申込受付期間：平成27年5月30日（金）まで

講義内容：1. 実験動物と動物実験の概論

2. 動物福祉に関する基礎知識

3. 飼育管理の基礎知識

4. 洗浄、消毒、滅菌の理論と実際

1）洗浄、消毒、滅菌についての概論　2）洗浄機と洗浄効果

3) 種々の消毒法とその効果　4) 消毒剤の種類とその効果

5) 種々の滅菌方法とその効果

5. 飼育管理の実際（実習）

1) 動物の取り扱い方　2）ケージ交換作業と動物の状態観察

3) 体重測定法　4) その他

受講の通知等：申込締切り後、受講票、振込み用紙および研修参加案内を送付します。参加費は通知受取後速やかに納入してください。

申込書送付先：〒101-0051東京都千代田区神田神保町3-2-5　九段ロイヤルビル502号室

 公益社団法人　日本実験動物協会

（TEL 03-5215-2231、FAX 03-5215-2232）

　E-mail：jsla@nichidokyo.or.jp

備考：申込書は日本実験動物協会のホームページからもダウンロードできます。
なお、申し込み後、やむを得ずキャンセルする場合は、必ず事前に連絡願います。但し、申込期間を超過してからの受講費は返還できませんので予めご承知おきください。

|  |
| --- |
| **平成27年度実験動物技術研修会「日常の管理」申込書** |
| ﾌﾘ ｶﾞﾅ氏　　　名 |  | 年令　　　歳 | 男 女 |
| 勤務先 | 名　称 |  |
| 所在地 |  〒 |
| 電　話 | 　　　 　　　 内線 番 　 FAX |
|  | E-mailｱﾄﾞﾚｽ |  |
| 書類送付先 | 〒 　　　 TEL |
| 実務経験 | 　　　　　　　　　　年 |
| 受付月日 | ※ | 受付番号 | ※ | 参加費 | ※ |

備考

① ※印欄は記入しないでください。

② 会員、賛助会員とは、あなたの所属する会社が当協会の会員、賛助会員であること

をいい、学会並びに技術者協会の個人会員とは異なりますのでご注意ください。

③ 年令、性別、実務経験は実習の際の班分けの参考に使用しますのでご協力ください。

**当協会は本申込みにより得た個人情報は「日常の管理」研修会に関連した目的以外の使用**

**は致しません。**

**FAX：03-5215-2232**

**別紙**

**「日常の管理」研修会の受講者からこれまで寄せられたご意見、感想など**

1. とても中身の濃い充実した研修会だった。座学は広範な知識をカバーしていただき、既知の部分も含め復習を兼ねながら効率良く学ぶことができた。
2. 日常業務をこなしているだけではなかなか学べない福祉や消毒、麻酔などの細かい部分を学習することができたのはたいへんよい機会だった。今後の業務にぜひ生かしたい。
3. 通常業務では扱うことのない動物種に触れることができたこともよい機会であった。
4. 「滅菌・消毒」の講義内容は、勤務先の施設でも応用できるものであった。
5. 動物福祉に関する基礎知識はたいへん理解しやすかった。この講義を受講して実験動物を扱っていく上での考え方、心構えが変わったと思う。
6. 基本的な事項からきちんと復習することができてよかった。
7. 実習では保定等について親切な指導を受けることができ有意義であった。
8. 実習では講師の先生方にいろいろ質問することができ、たいへん有意義な時間を過ごすことができた。実習のグループ内でも他社の方々と情報交換することができたので、グループでの実習形式はたいへん望ましいものだった。
9. 丁寧に編集された資料をいただけたので、今後のためにもとても勉強になる。
10. これまでは日常の飼育管理において、特に自分の行う作業の意味を深く考えることはなかったが、今回の研修を受講してその意味と意義を認識しなければならないと感じた。
11. 日常業務では触れることのない動物を扱うことができてよい経験になった。
12. 実験動物に関わる機器企業に勤務しており、基礎的な勉強のため参加した。職務上動物に触れる機会がなかったので実習はたいへん勉強になった。
13. 動物室のクリーンアップ方式では、薬剤の選択方法等の意見を聞くことができ有意義だった。
14. 今回の研修会で初めて動物を取り扱いました。保定は難しかったですが、大変役立ちました。
15. 3Rの事や実験の目的や研究発表の情報を明確にする事などいろいろ勉強になりました。
16. 社内でよく見かける行為は、実はあまり推奨されていないことだった、ということに気づいたので、社内で情報をシェアしようと思う。